

福井工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	工業英語	
科目基礎情報							
科目番号	0048			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	物質工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	General Chemistry						
担当教員	佐々 和洋,常光 幸美,高山 勝己,松井 栄樹,西野 純一,川村 敏之,後反 克典,坂元 知里,古谷 昌大,山脇 夢彦,松野 敏英						
到達目標							
化学の分野に関する技術英文で用いられる専門用語および構文について解説を行い、その読解能力を高め、一般的な論文が理解できるようにする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		英語で書かれた解説や論説・学術論文などを筆者の意図に沿って読解し、その内容を日本語で説明できる。		一般的な英語論文の構文が理解でき、訳すことが出来る。また、論文中でのグラフや表の書き方、注釈の書き方について理解できる。		一般的な英語論文の構文が理解でき、訳すことが出来ない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 RB2 JABEE JC2 JABEE JD2							
教育方法等							
概要		今日に於いては技術の国際的な交流が活発になされており、技術者は技術に関する英文の読解力が求められている。そこで、化学の分野に関する技術英文で用いられる専門用語および構文について解説を行い、その読解能力を高め、一般的な論文が理解できるようにする。					
授業の進め方・方法		物質工学科各教員に学生を振り分け、各卒研室で次年度の卒研の準備も含めて、少人数での文献輪読などを行い個別的な指導を行う。授業外学習は予習として毎授業範囲の英文訳と単語テスト対策を課すことにより行う。					
注意点		環境生産システム工学プログラム：JC2(◎), JB1(○) 関連科目：英語I, II, III, IV コミュニケーションI, II 評価方法：配属各教員において出される試験または課題及びレポートなどにより総合評価を行う。 評価基準：学年成績60点以上					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	各教員に配属、授業概要、ガイダンス		授業内容の説明、研究室紹介		
		2週	各研究室単位での論文購読		英語論文の講読		
		3週			英語論文の講読		
		4週			英語論文の講読		
		5週			英語論文の講読		
		6週			英語論文の講読		
		7週			英語論文の講読		
		8週	中間確認				
	4thQ	9週			英語論文の講読		
		10週			英語論文の講読		
		11週			英語論文の講読		
		12週			英語論文の講読		
		13週			英語論文の講読		
		14週			英語論文の講読		
		15週			英語論文の講読		
		16週	学習のまとめ		学習のまとめ		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験・課題	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0